



2.38 PDA 新潟県立新潟高等学校即興型英語ディベート 体験会

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2019年11月7日(木) 13:00-15:30

会場：新潟県立新潟高等学校

参加者：生徒55名、教員2名

ジャッジ：PDAスタッフ、九州大学

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

初めに、PDAスタッフより、ルール説明、POI (point of information: ディベート中に質疑応答をリクエストするルール) の練習が行われました。その後、モデルディベートの視聴を行いました。モデルディベートの視聴では、フローシートにスピーチのメモをとる練習も行いました。

ルール説明が終わると、いよいよ第1ラウンドの始まりです。第1ラウンドの論題は、*“Single sex schools are better than co-educational schools. (共学より、男子校または女子校の方がよい。)”* でした。論題が発表されると、ブレストシート (アイデア出しシート) をうまく活用しながら、関連するキーワードを図にしながら書き出したり、チームメイトと見せ合いながら意見交換をしたりする様子が見られました。今回は第1ラウンド、第2ラウンドともに PDA スタッフの務めるメインジャッジの他に、生徒がサブジャッジを体験しました。サブジャッジをすることになった生徒は、肯定チームと否定チーム両方の意見をお互いに考えました。実際のディベートが始まると、勉強に集中できる環境はどちらかや、相互理解を深める機会の重要性など様々な視点から議論が行われました。ラウンドが終了すると、生徒ジャッジも勝敗を述べ、メインジャッジからフィードバックが行われました。



POI の練習を行いました



チームメイトと作戦を練ります



生徒ジャッジも論題について考えます



聴衆を見て堂々とスピーチします

第1ラウンドが終わると、第2ラウンドの開始です。第1ラウンドでジャッジをした生徒はディベーターへ、第1ラウンドでディベーターをした生徒はジャッジとなりました。第2ラウンドの論題は、“*Japan should have nuclear weapons. (日本は核兵器を持つべきである。)*”でした。第1ラウンドよりも少し難易度の上がった論題でしたが、国際関係や日本の現状など様々な視点から深い分析が行われました。実際のディベートでは第1ラウンドでジャッジから受けたアドバイスを活かしながら、具体的な説明を行おうと、理由づけだけでなく、例を説明する生徒も多く見られました。中には、普段自分がチェックしている海外のニュースの事例をスピーチの中で披露する素晴らしいスピーチも見られました。

ディベート後のベストディベーターに選出された生徒からの感想では、「海外の人と話すときは常に即興。この即興型ディベートでその場での対応力を磨く必要性を感じた」「普段から国内外のニュースに注意を払うことが重要」など、英語学習や社会情勢の理解に対するモチベーションの上昇を感じるコメントが多数ありました。



ジャッジの正面に立ち、スピーチします



生徒ジャッジによるコメント



生徒ジャッジより勝敗の理由が説明されます ベストディベーターの生徒による感想

参加者の声（アンケートより抜粋）

・相手の意見を聞いてすぐに自分の意見の発し方の組み立てを考えるのが新鮮で楽しかった。

・普段の授業のときよりもその都度頭を使って対応しなきゃいけないというプレッシャーが大きかったが、自分から話していこうという力をつけていかなきゃいけないとわかった。

・短時間で考えて英語で話すのは大変だったけど、相手に伝わっているのが分かるととても楽しかった。

・即興でももの考えることはあまりないので、言語問わず、日々の生活にとりいれるべきだと思った。反論が考えつかないような鋭い意見もあり、思考力が必要な上、考えを刺激された。新たな視点を得られた。

・すぐに意見を話すのが難しかったが、達成感があった。

・自分のディベートのどこが良かったのか、どこが良くなかったのかを客観的な視点から知ることができ、自分自身を成長させる良い機会になったと思う。

・僕は頭ですぐ考えて英語に変えて話すということは本当にできなくて、すぐにつかえてしまったが、こういう機会があることで、即興で考えることができるようになるんだなと思った。

即興は初めてでした。すぐに自分の考えを決めて英語で言えるようになりたいです。

・アメリカに行った後またやってみて伸びしろを見てみたい。

・英語を話せるかどうかよりも、英語で話すことがあるかどうかの方が重要であると改めて感じた。私は普段英語を勉強しないで本ばかり読んでいるから親に怒られるが、そうやって得た知識は今日のディベートでも活かしたから悪いことでは無かったのだと思う。英語で話せるというのはこれからあたりまえになっていくとおもうから、これからも改善点を見つけていきたい。